

2019年7月期第1四半期 決算補足説明資料

2018年12月12日

VALUENEX株式会社

東証マザーズ：証券コード4422

1

事業概要

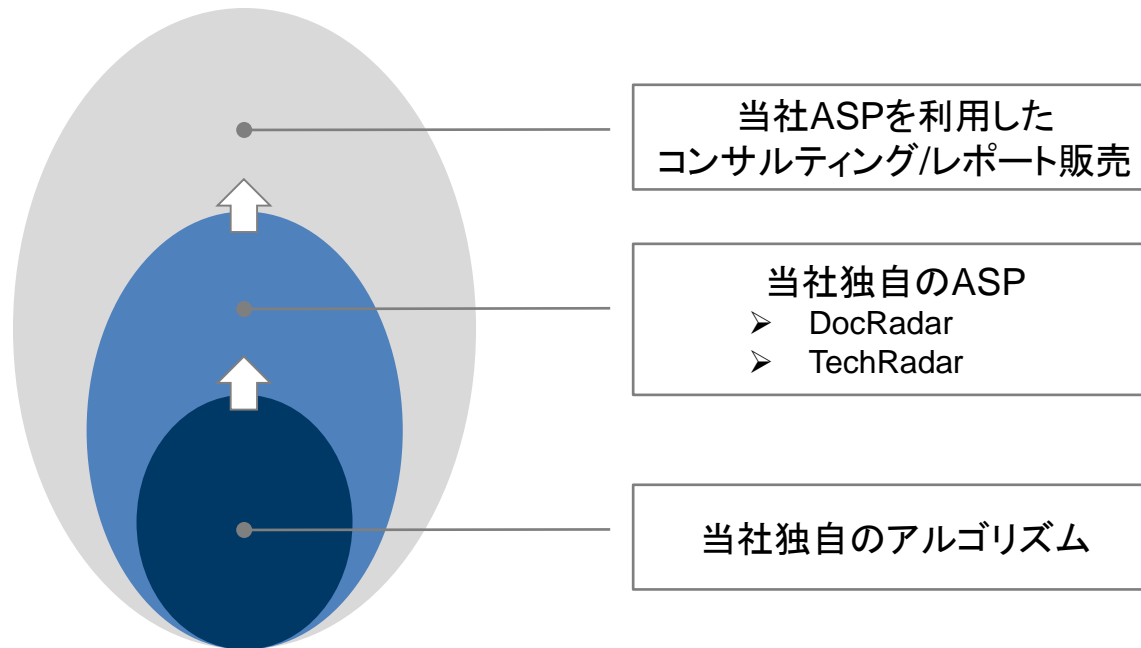
2

2019年7月期第1四半期業績報告

当社のアルゴリズム事業について

当社独自のアルゴリズム^{注1}は大量の文書データ間の類似性を計算し、その関係を可視化するものであり、2つの販売形態を展開しております。

- 1) 当該アルゴリズムに基づく**ASP^{注2}**
- 2) 本ASPを活用した**コンサルティング/レポート販売**



当社のアルゴリズム事業は、予測分析(プレディクティブ・アナリティクス)^{注3}に応用可能なアルゴリズムであることを最大の特徴としております。

注1: アルゴリズムとは、問題解決のための具体的手順のことです。

注2: ASP(Application Service Provider)とは、インターネット等のネットワークを通じて、アプリケーションソフトウェアを提供するサービスを指しております。

注3: 経験的証拠からの学習により、個人/企業/政府などの行動を予測し、より良い意思決定を導く技術を意味しております。

サービスコンセプト: 俯瞰解析とは

- 大量の文書データ間の類似性を計算し、その関係を可視化します。
- 俯瞰的な可視化により直感的に理解し、さらに指標化によって定量的に解析することが可能です。
- 意思決定・戦略構築(経営、マーケティング、R&D等)に資する知見を得ることが可能となります。

BIG DATA

CLUSTERING

VISUALISATION

ANALYTICS

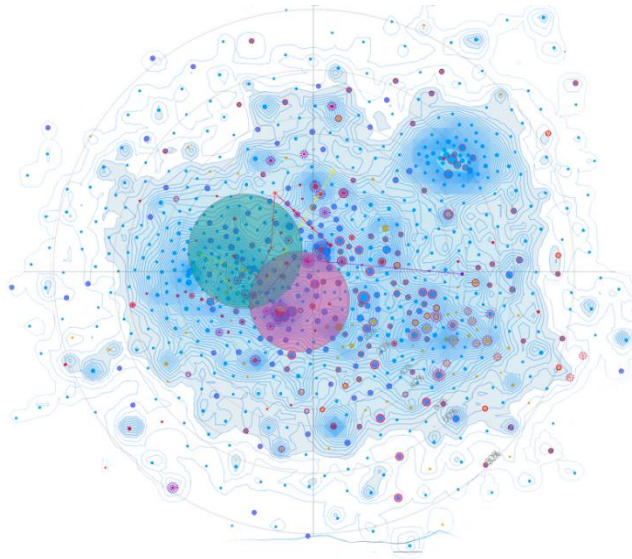
特許、論文、SNS、記事、
アニュアルレポート 等



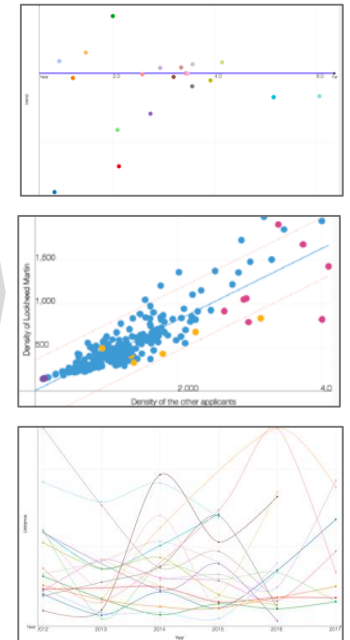
文書間の類似性に
基づいたクラスタリング



クラスタ同士の類似性に
基づいた可視化



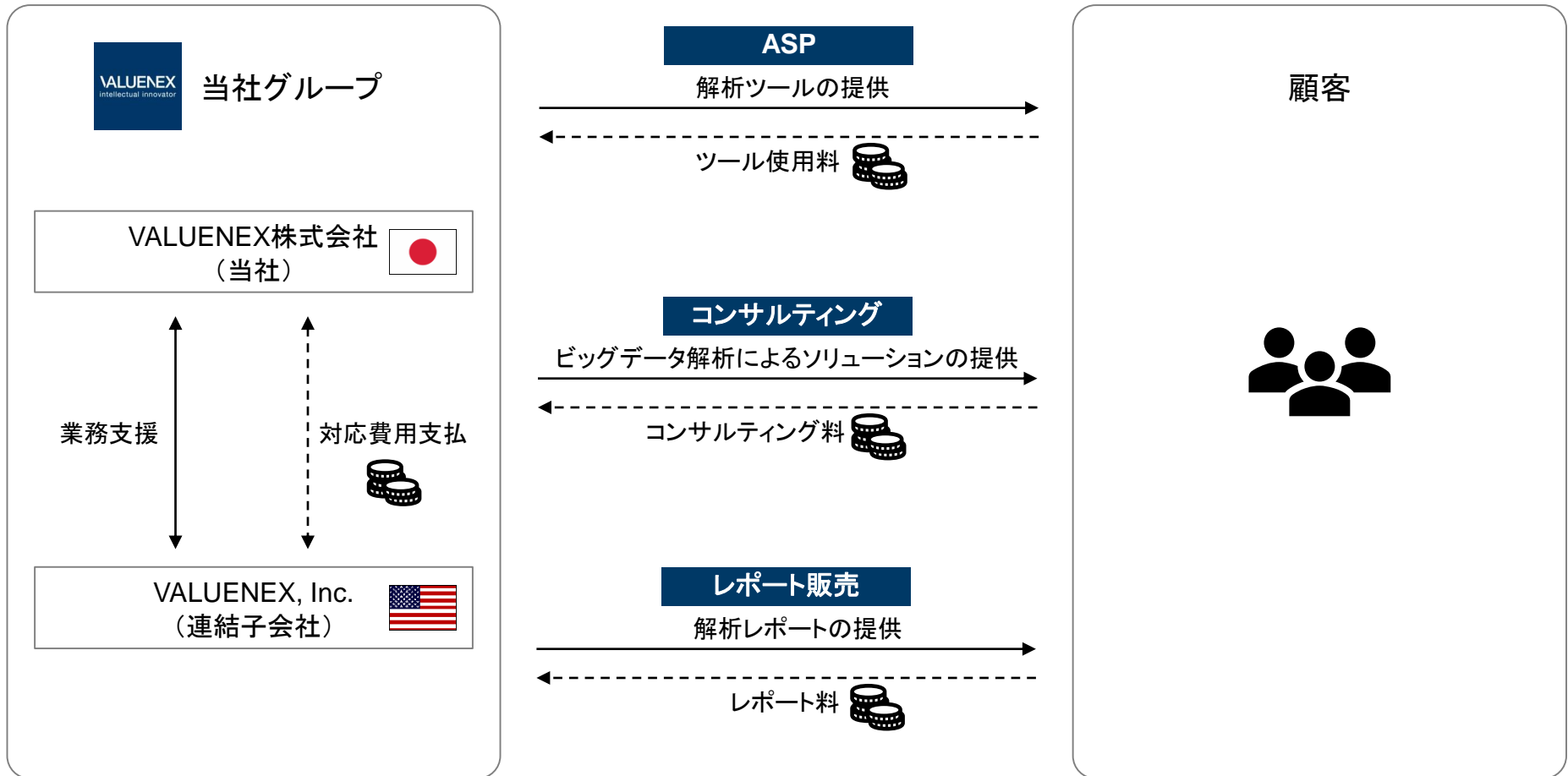
様々な指標化による
定量的な解析



事業モデル

————▶ サービスの流れ
 - - - - -▶ お金の流れ

事業モデル



1

事業概要

2

2019年7月期第1四半期業績報告

決算ハイライト

1	第1四半期の売上業績は 堅調に推移	<ul style="list-style-type: none">• 今期の第1四半期連結売上は91百万円 (前年同期51百万円から約78%増)• ただし、上場に伴う一時費用等の影響により、純損失は約15百万円拡大 (次ページ参照)
2	なかでも、将来の主力と 据えるASPサービスの売上 が安定的に成長	<ul style="list-style-type: none">• ASPサービスの売上は50%の成長率を達成 (今期第1四半期51百万円、前年同期34百万円)• 全体の約47%を占める顧客がASPを3年以上利用
3	事業拡大に伴い、 グローバルでの 組織体制を強化	<ul style="list-style-type: none">• 国内外の事業拡大に伴い、グローバルベースで7名採用注<ul style="list-style-type: none">✓ 国内の営業担当を4名採用✓ 国内の経理担当を1名採用✓ 米国子会社の現地従業員を2名採用
4	米国の事業活動も 本格化	<ul style="list-style-type: none">• 営業経験豊富な現地従業員を採用し、大型コンサルティングプロジェクトも受注に成功• グローバルでのプレゼンス向上を企図し、当社事業セミナーを現地で講演• シリコンバレーの最先端テック企業とのコラボレーションも取り組み中

注:2018年10月末時点の情報です。

2019年7月期第1四半期 連結業績概要

第1四半期の売上は前年度同期に比べ、約78%増の91百万円の売上を計上しましたが、上場に伴う一時費用等により、純損失は約15百万円拡大する結果となりました。

単位：百万円

	2018年7月期 第1四半期	2019年7月期 第1四半期	対前年同期比
売上高	51	91	+40
営業損失	△42	△43	△1
営業外費用 (上場関連費用)	0	14	+14
経常損失	△42	△58	△15
四半期純損失	△43	△58	△15

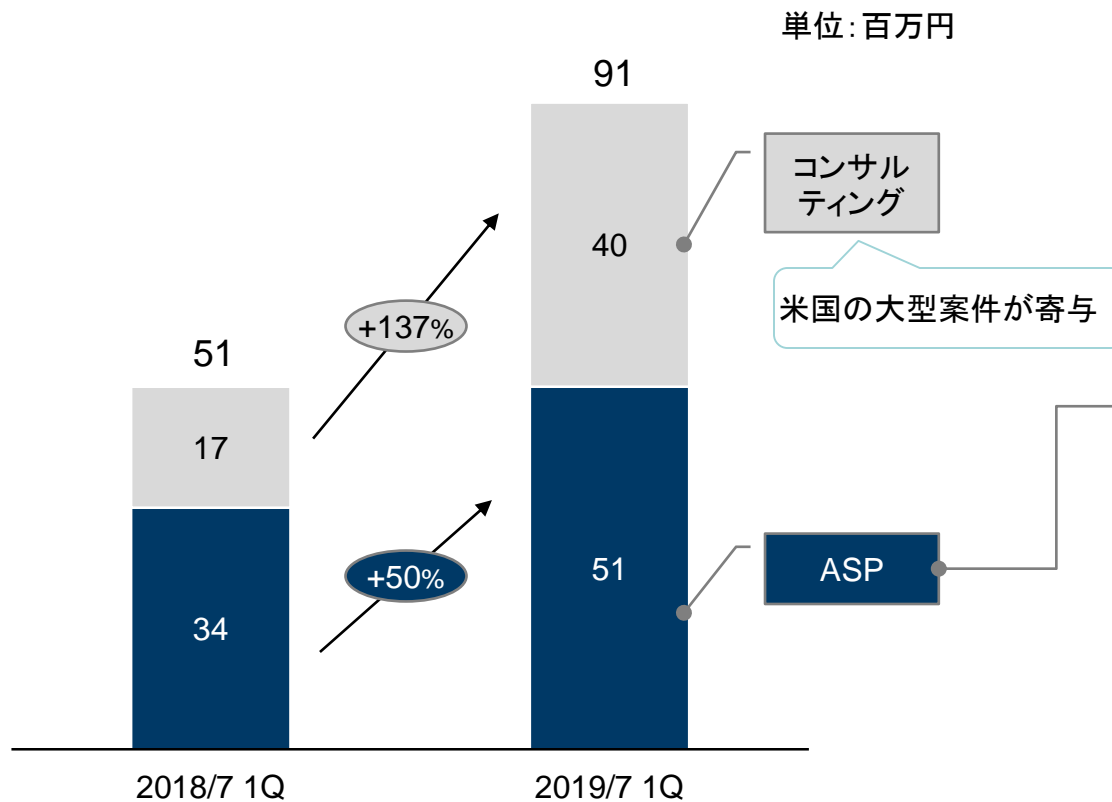
+78%

注：小数点処理のため、金額と対前年同期比の計算が一致しない可能性があります。

サービス別売上

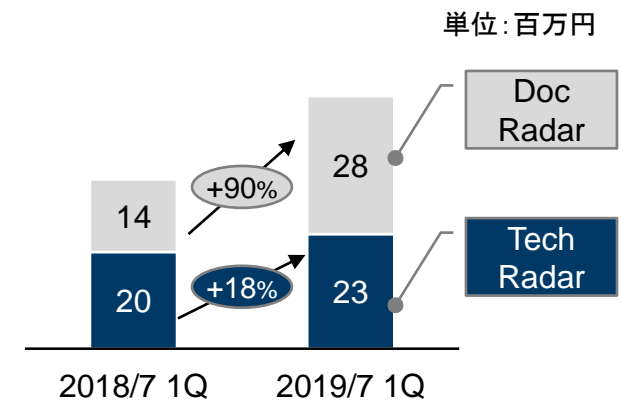
ASPとコンサルテリングともに売上を伸ばす結果となりました。

サービス別の売上注1内訳



ASP売上注2の内訳

- TechRadar、DocRadarともに増加
- なかでも、DocRadarの前年同期比は90%と大きく伸長



知財データだけではなく、汎用データの解析サービスも拡大

注1: 連結ベース

注2: ASPサービスの概要については、次ページをご参照ください。小数点処理のため、金額と増減率の計算が一致しない場合がございます。

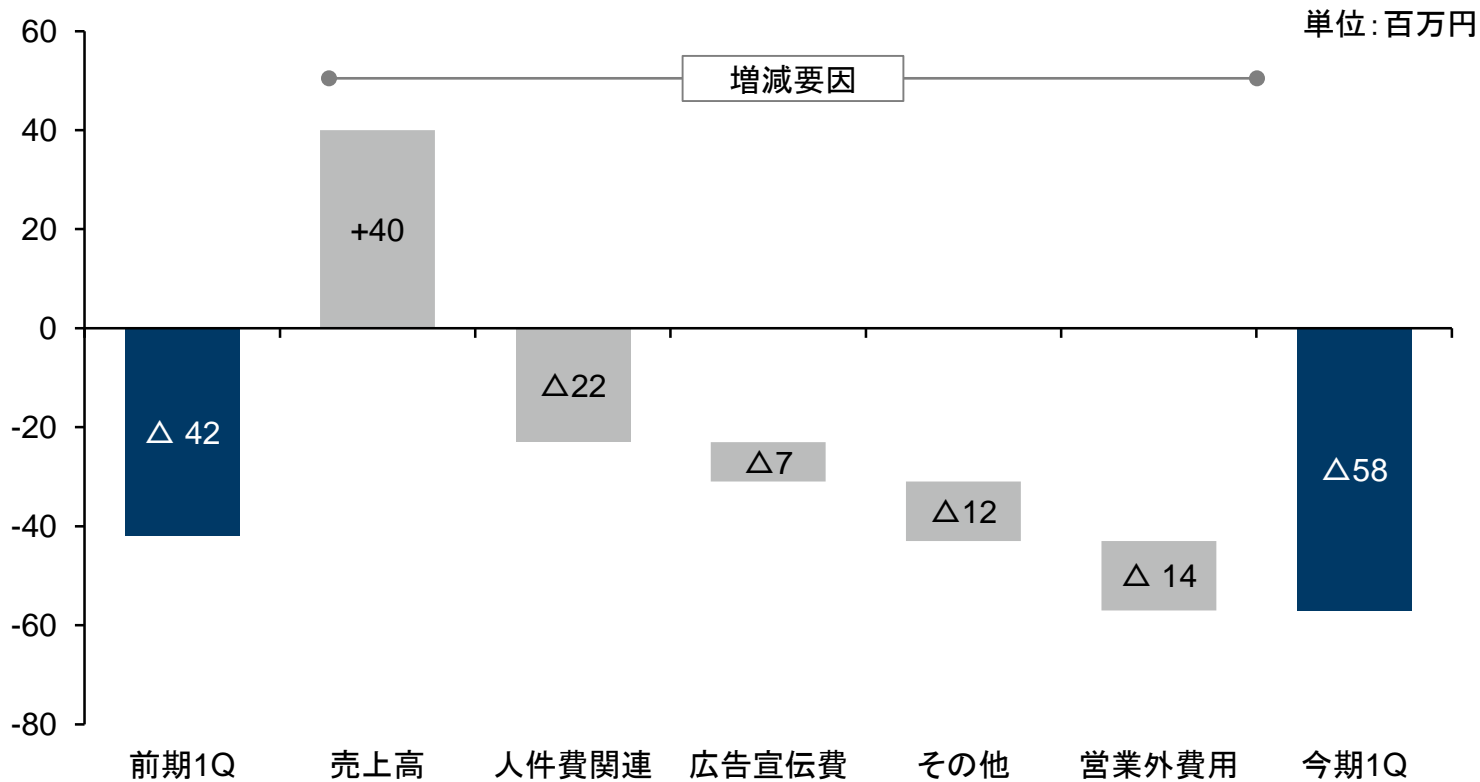
サービス概要

サービス分類		概要	主要対象顧客	対象文献	データベース	
ASP	TechRadar	Scope	最大1,000件まで特許を高速可視化	特定の特許や技術の類似特許を検索・可視化したい方が対象	特許	付属
		Vision	最大10万件までの特許を可視化・解析	業界・技術分野や企業の研究開発領域を俯瞰解析したい方が対象		
	DocRadar		最大10万件までの様々な文書データを可視化・解析	特許以外にも、学術論文、クチコミ情報、アンケートデータ、商品紹介等の多様な文章データを俯瞰解析したい方が対象		
コンサルティング		顧客の課題に応じた調査・解析及びコンサルティングを当社が実施	調査/解析する時間・人材がない、もしくは結果だけが欲しいといった方が対象	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特許、論文 ✓ 新聞記事 ✓ SNS、アンケート、クチコミなど 	付属せず	
レポート販売		当社が独自に調査・解析を行い、簡易レポートを提供				

経常損益の差異要因 ～対前年同期比～

上場及び事業拡大に伴う一過性費用が嵩んだことにより、経常損益の赤字幅が前年同期に比べ拡大しました。

経常損益(連結ベース)の増減要因



- 人件費関連(給与、採用費等)と広告宣伝費の増加は、事業拡大に伴って発生

- 「その他」の主な費用は、開発推進のための一時費用

- 営業外費用の大半は、上場に伴う上場関連費用(約14百万円)
- 別途上場に関する費用(約13百万円)は、第2四半期に発生する予定

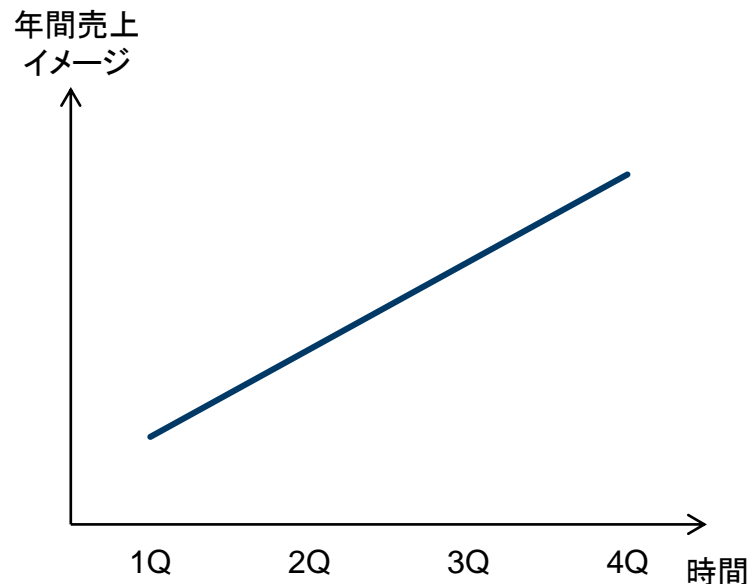
注: 小数点処理のため、差異内訳が合計と一致しない可能性があります。

売上構造について

当社の売上はASPとコンサルティングから構成されます。特に、コンサルティングは例年3月に売上が集中する傾向にあります。

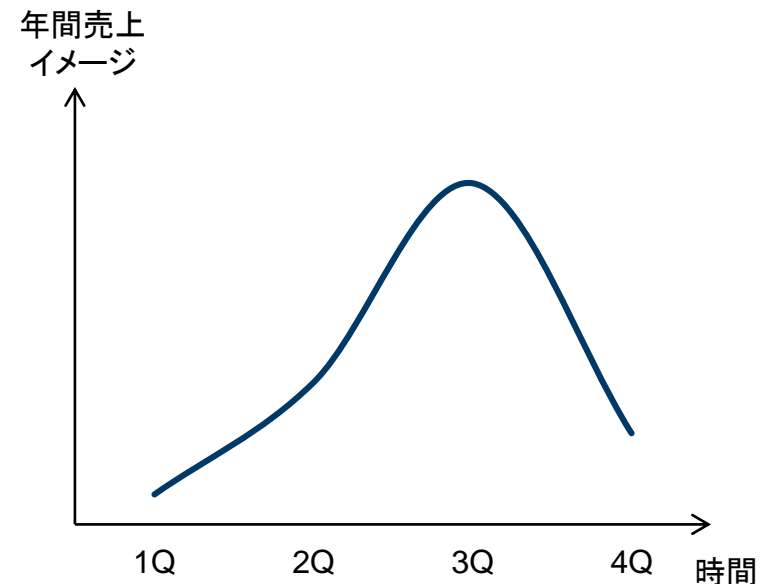
ASP

- SaaS^注ビジネスの特性上、ストック型(積み上げ)の売上モデルとなる



コンサルティング

- 国内の上場企業及び官公庁への納期が3月に集中するため、当社では第3四半期に売上の大部分が計上される傾向にある



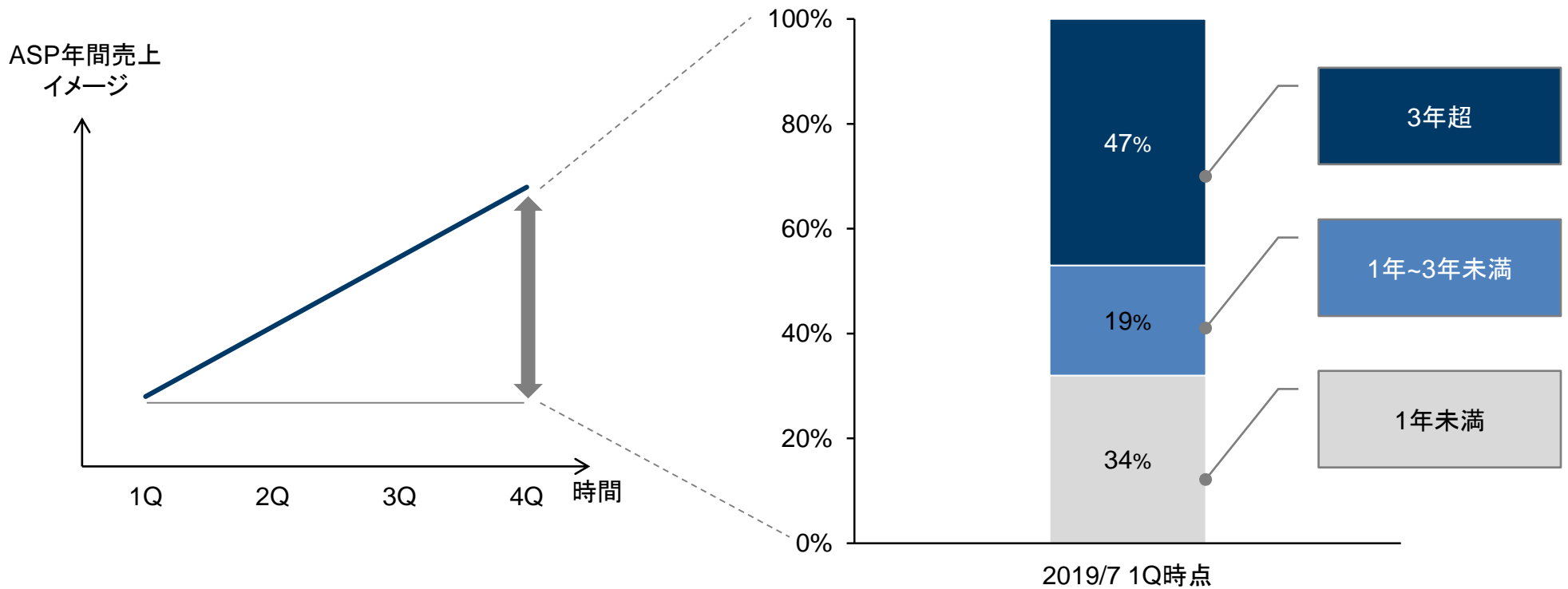
現状ではコンサルティング売上のウェイトが大きいいため、利益ベースでは通年、第3四半期に黒字化

注: SaaS (Software as a service) とは、インターネットを経由してソフトウェアを利用するサービスのことを指します。

ASPサービス顧客の継続利用期間

ASPサービスを3年以上ご利用頂いている顧客数は、全体の50%近くを占めます。

ASPサービス顧客の継続利用期間の内訳^注



注: 2018年10月末時点での契約数ベースでの構成比率です。

VALUENEX, Inc.(米国)第1四半期活動状況

売上

- シリコンバレーの企業から大型コンサルティング案件の受注に成功
- 米国の有名企業 (Fortune 100) でASP販売経験のある営業担当を採用、米国企業のパイプラインを強化
- 様々なデータベースと連結し、インダストリーごとのソリューションを開発中

人員計画及び関連施策

- 上記ASP営業担当を1名、カスタマーサクセスマネージャー (CSM) を1名採用
- 人員増強と事業拡大に伴い、事業所を追加 (現在、Menlo ParkとPalo Alto)

マーケティング

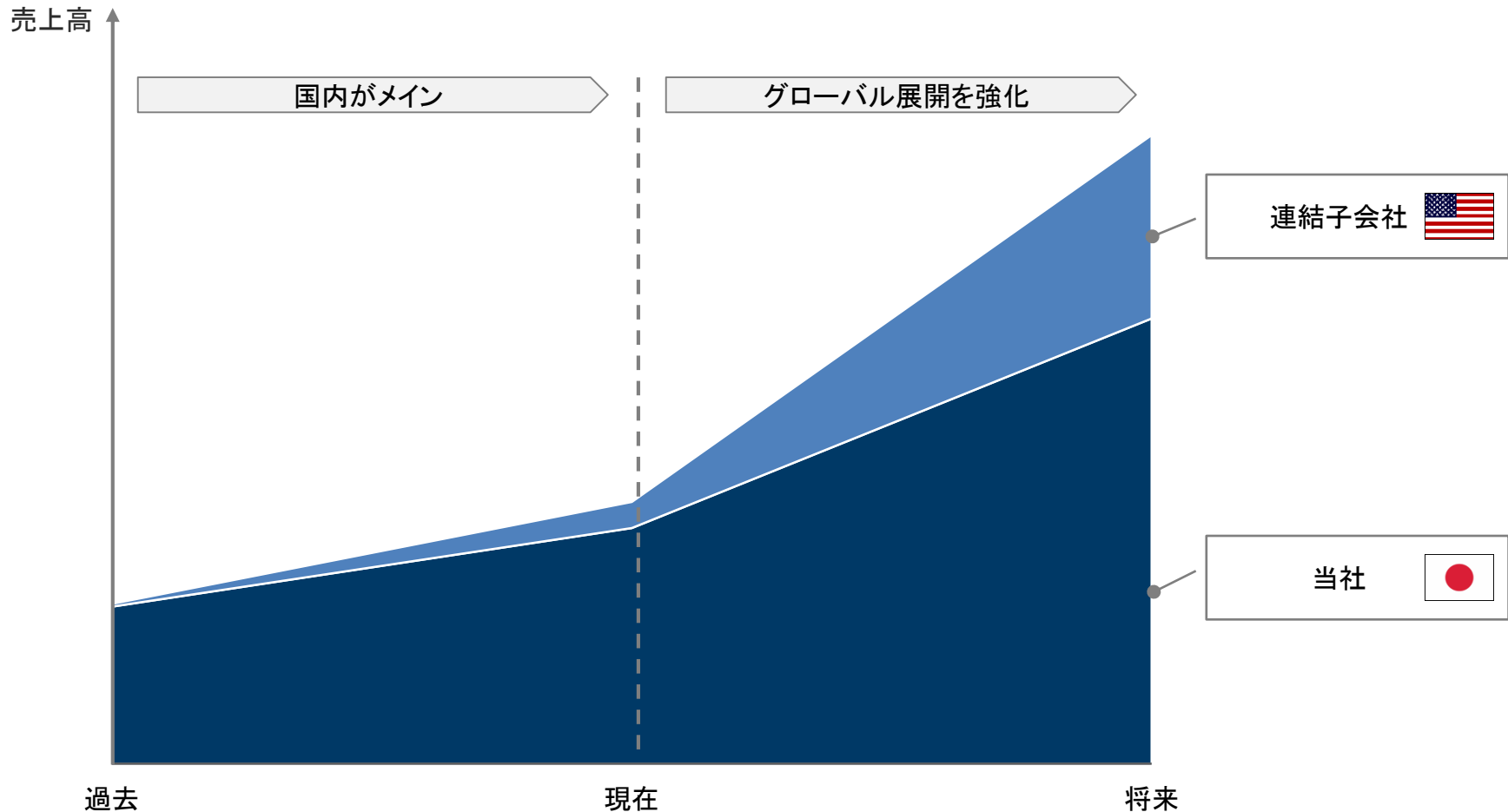
- 下記セミナーにスピーカーとして参加、グローバルの大手企業にプレゼン
 - ✓ Minne Analytics (2018年8月23日、ボストン)
 - ✓ Innovation Day 2018 (同年8月30日、ストックホルム)
 - ✓ IPBC Japan (同年9月13日、東京)
 - ✓ IP World Summit (同年10月8日-10日、アムステルダム)

開発・パートナーシップ

- 次世代VALUENEX Analytics開発を目標にシリコンバレーの最先端テック企業とのコラボレーションの取り組み
- ベンチャーキャピタルと法律事務所とともに、スタートアップ投資関連共同セミナーを2018年12月に開催する予定

今後の成長イメージ

国内市場に引き続き注力すると同時に、米国を中心とした海外に当社のASPサービス及びコンサルティングサービスを展開し、グループ全体の成長を図ります。



Find your Future on the Radar

VALUENEX
intellectual innovator

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

Appendix

会社概要

当社はデータマイニング及びデータ可視化技術等をコアコンピタンスとし、様々な意思決定・戦略構築に資する解析サービスを提供しています。

社名:	VALUENEX株式会社
事業内容:	アルゴリズム事業
設立:	2006年8月1日
所在地:	東京都文京区小日向 四丁目5番16号
資本金:	455百万円(2018年10月末日現在)
連結子会社	VALUENEX, Inc.(100%子会社) ※在米国
従業員数:	19名(2018年10月時点) ※役員除く
役員:	中村 達生:代表取締役社長/博士(工学) 工藤 郁哉:取締役 コーポレート本部長/MBA 本多 克也:取締役 研究開発本部長/博士(工学) 片桐 広貴:取締役 ソリューション事業推進本部長/修士(工学) 鈴木 理晶:社外取締役/弁護士 松田 均:常勤監査役/公認内部監査人 花堂 靖仁:監査役/ 大学名誉教授 宮内 宏:監査役/弁護士

ミッション及びビジョン

Mission

VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です

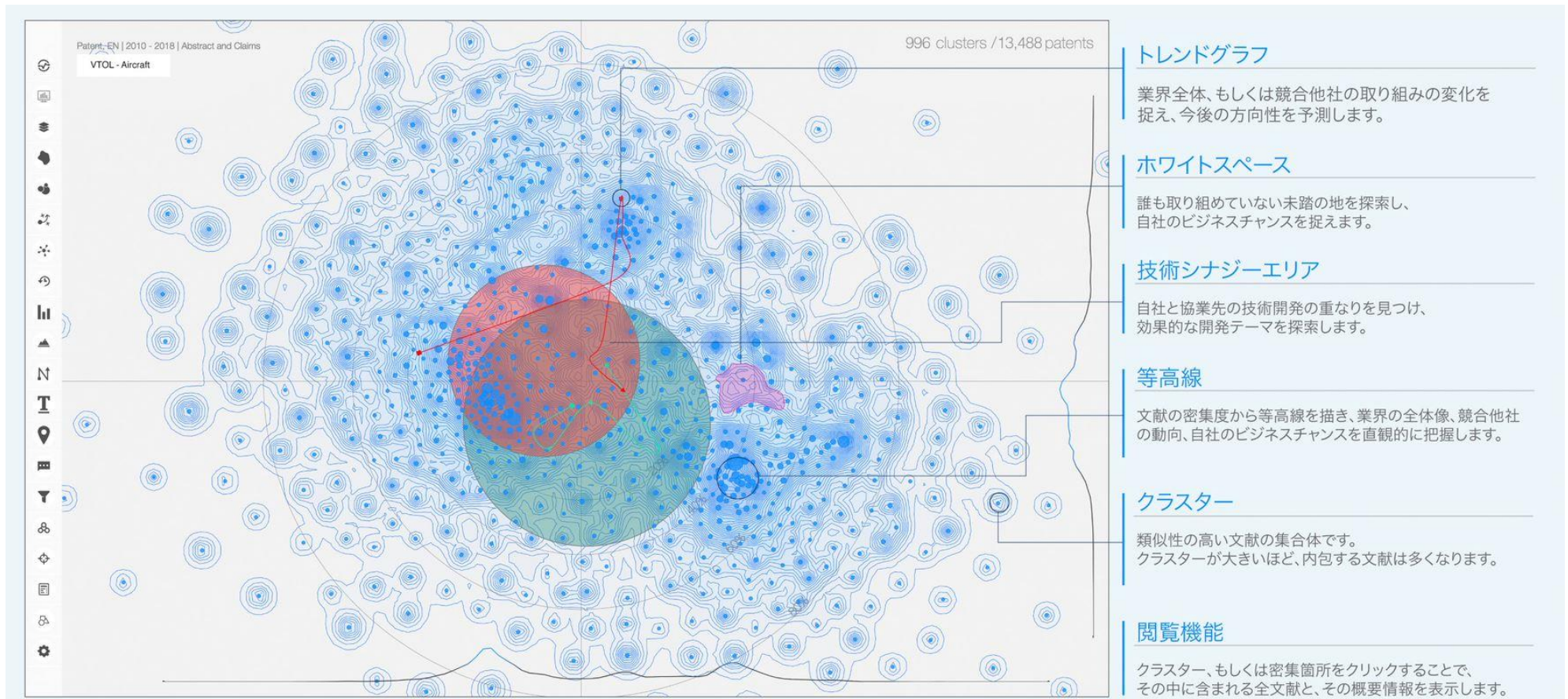
Vision

- 我々は、世界に氾濫する大量の情報を「信頼性」、「俯瞰性」、「客観性」、「正確性」、「最適性」の5つの独自の視点で融合し、価値を創造する企業です
- 我々は、世界に認知される企業を目指します
- 我々は、自ら考え、自ら行動する企業を目指します
- 我々は、「知」を求める全ての人に価値を提供します

当社ASPの検索・可視化イメージ

検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

当社ASPのイメージ図(俯瞰図)

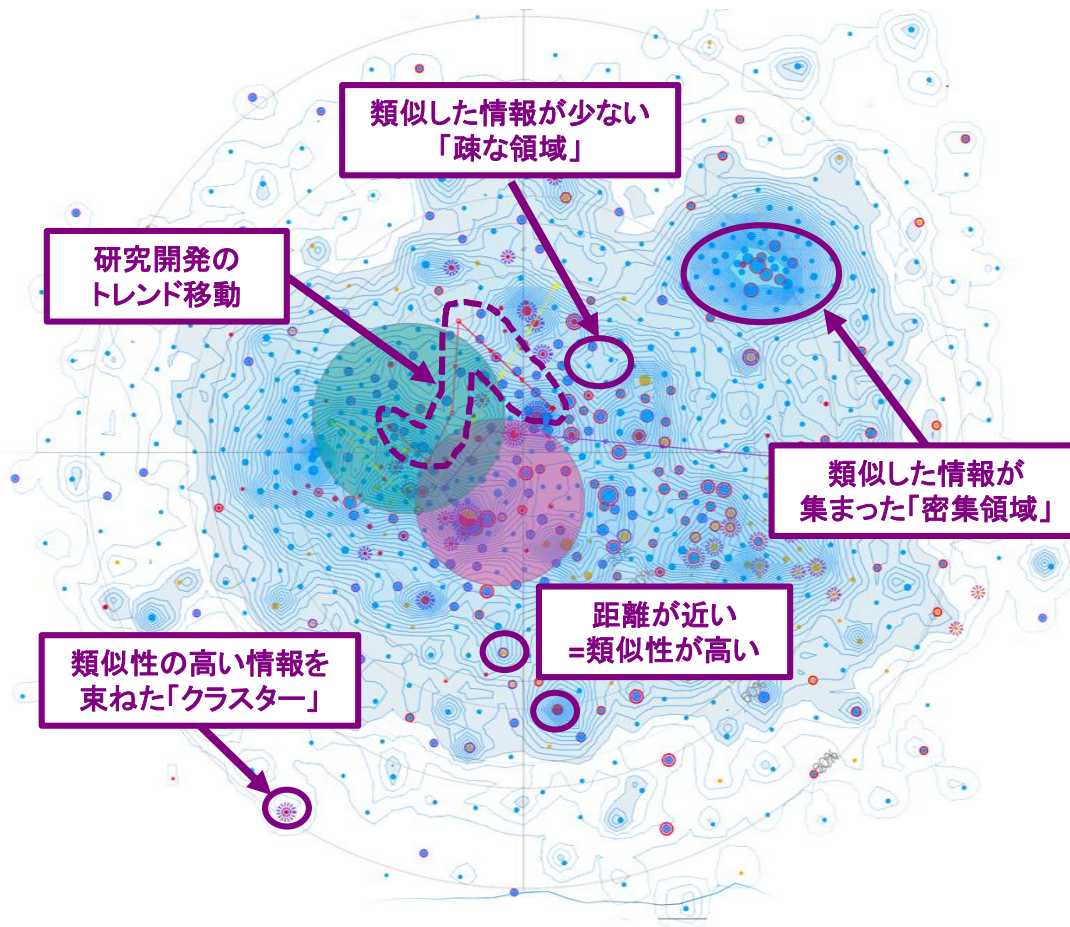


俯瞰図の読み方(詳細)

俯瞰図上の情報(距離、密度、分布、空白、萌芽等)から洞察を得ることが可能となります。

当社ASPのイメージ図(俯瞰図)

内容



● 各プロットは似ている文書をひとまとめにしたクラスタ

● ● クラスタの大きさは、含まれる文書の数に比例

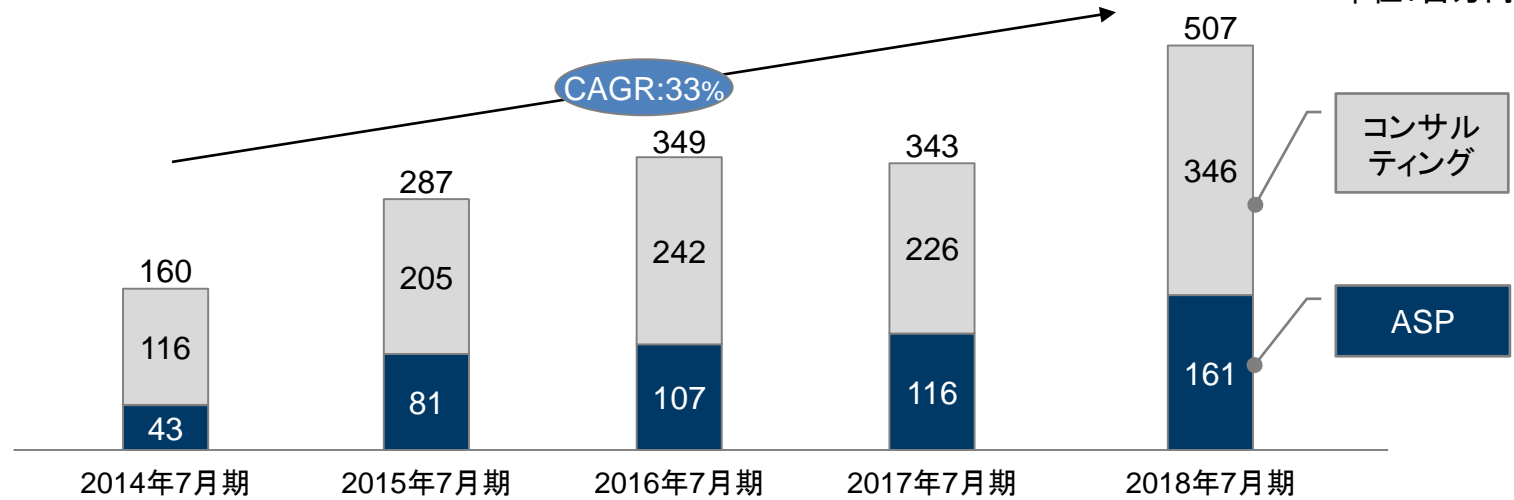
● ● ● クラスタ間の距離は、クラスタ間の類似度を表現(似ているほど近い、似ていないほど遠い)

● ● ● XY軸が予め定義されているわけではなく、クラスタ同士の類似性が最適に表現できるように配置決定

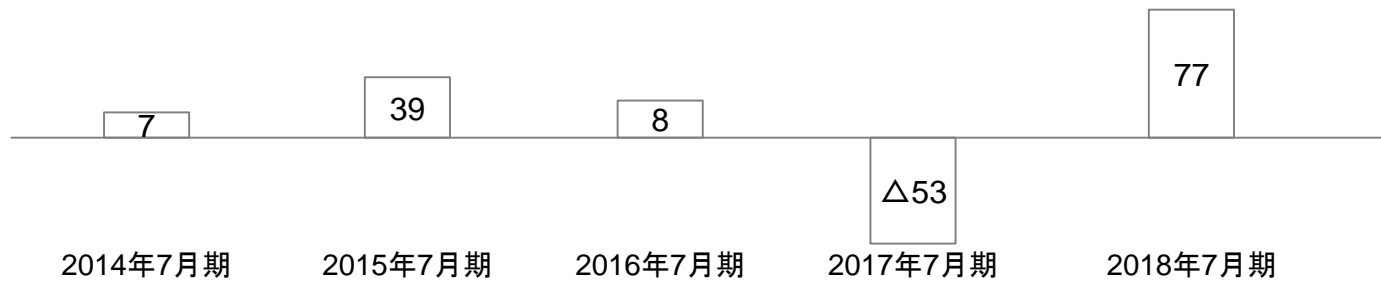
業績推移

単位:百万円

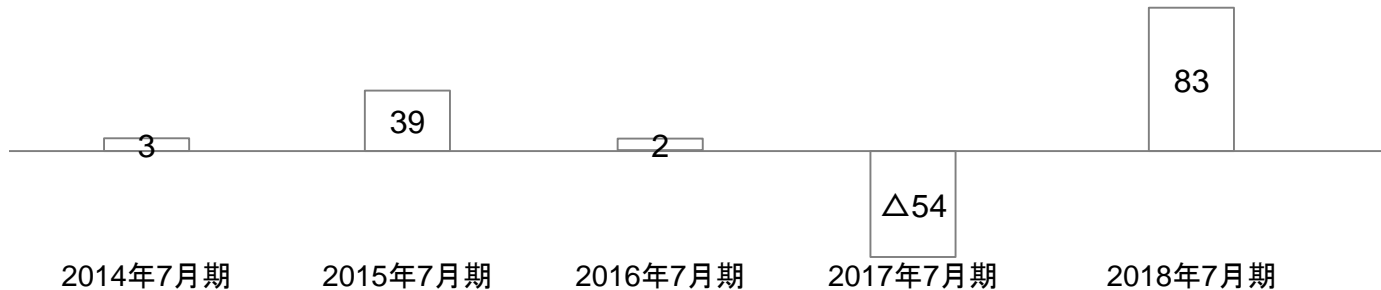
売上高注



経常利益注



当期純利益注



注:ASPとコンサルティング以外に、レポート販売に係る売上も一部ございます。また、小数点処理のため、売上内訳が合計と一致しない可能性がございます。
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。